

年度 2007 学期 前・後期	曜日・校時 前火3/前水1/後火3/後水1	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	スポーツ演習(ソフトボール・卓球) Seminar of Sports and Exercise		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 1年の各指定クラス	科目分類 健康・スポーツ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:坂本圭司/Eメールアドレス:k-sakamoto@s-f-nagasaki.com/研究室:総合体育館2F(体育教官室) / /オフィスアワー:授業前後の休み時間			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。</p> <p>授業方法: 「ソフトボール」と「卓球」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、などの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を見に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。</p> <p>授業到達目標: ボールを正確に投げるができる。打つことができる。(ソフトボール)打球を返すことができる。ラリーができる。(卓球)ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>授業内容(概要) ソフトボールと卓球においてそれぞれの基礎的技術でゲームを行い、その中で徐々に発展的な技術や戦術を取り入れていきゲームのレベルを高めていく。</p> <p>第1回 オリエンテーション(授業の進め方) 第2回 ソフトボールの基礎的技術の習得(投げる、捕る、打つ) 第3回 ソフトボールのゲームを楽しむ 第4回 ソフトボールのゲームを楽しむ 第5回 ソフトボールのゲームを楽しむ(リーグ戦) 第6回 ソフトボールのゲームを楽しむ(リーグ戦) 第7回 ソフトボールのゲームを楽しむ(リーグ戦) 第8回 ソフトボールのゲームを楽しむ(リーグ戦)、技能テスト 第9回 卓球の基礎的技術の習得(打つ、ラリー) 第10回 卓球のゲームを楽しむ 第11回 卓球のゲームを楽しむ 第12回 卓球のゲームを楽しむ(リーグ戦) 第13回 卓球のゲームを楽しむ(リーグ戦) 第14回 卓球のゲームを楽しむ(リーグ戦) 第15回 卓球のゲームを楽しむ(リーグ戦)、技能テスト</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 70% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方(集団での行動や話し合いへの積極的な参加)を評価する。 欠席が3回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			